

# 関連資料

## 成田赤十字病院の現況 2009.4現在

総病床数 719 床 (実働702床)

医師数 163名 看護師数 645名

救命救急センター(三次) 透析センター 1 類感染症病床

地域支援病院 初期臨床研修指定病院 地域がん診療連携拠点病院

災害拠点病院 病院機能評価Ver.5

精神神経科 ( 精神病床数 閉鎖男女混合50 床 内、指定病床6 応急指定)

常勤医師数 6名 (内、指定医3) 看護師数 26名

臨床心理士 3名 精神保健福祉士 2名

平成20年度 年間入院数 363人 平均在院日数 47.0日

1日平均外来数 148.0 人

精神科デイケア ( 定員24名、期限設定 : 最長 2 年)

精神保健福祉士 1 看護師 1 作業療法士 1

1 日平均12人、平均登録数 40人

# 成田赤十字病院 救命救急センター (体制およびH19統計)

年間延受診者 : 38,864 内、入院 5,036 (13%)

精神科受診者 : 1,024 208 (21%)  
(2.6%)

(注: 時間内受診者を含む)

当直医 8 (内2, 外2、小児、脳、産婦、救急)  
拘束医 3 (眼、麻酔、精神)

当直 : 放射線技師、検査技師2、薬剤師、ME

(注 : H21.4~一次救急は原則対応中止)

# 成田赤十字病院 精神科救急のシステム

救命救急センター外来を利用

24時間365日対応

精神科拘束医が対応

原則として15分以内に駆けつけられる

拘束医が非指定医の場合は指定医が二重待機

平均1人月5回、さらに指定医は月5回指定医待機

原則として 精神科症例は全て精神科拘束医が対応

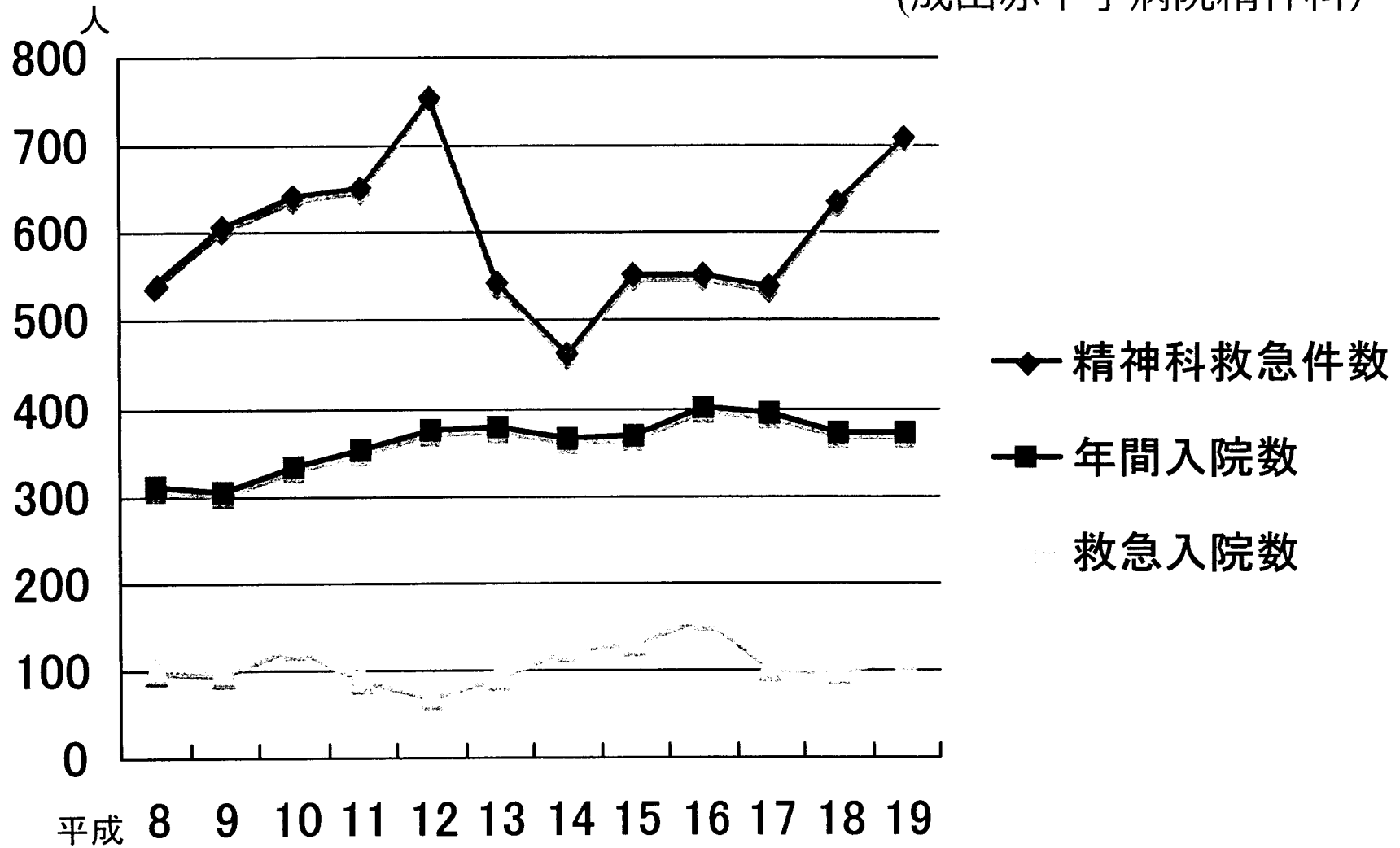
但し、急性薬物中毒重症例は救急科医師が対応

パニック障害初発例は内科医が対応することが多い

千葉県印旛医療圏における精神科救急基幹病院に指定

# 精神科救急件数、年間入院数、救急入院数推移

(成田赤十字病院精神科)

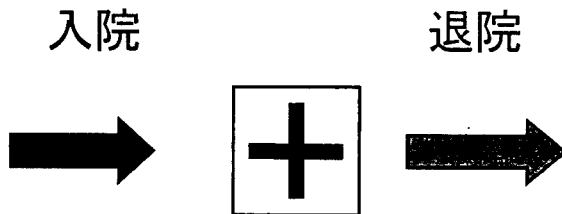


# 入退院経路

入院 413

当院精神科外来	186
院内他科より転科	54
単科精神病院	28
総合病院精神科	17
一般病院	11
クリニック	6
保健所／市役所	34
救急外来 (重複あり)	105

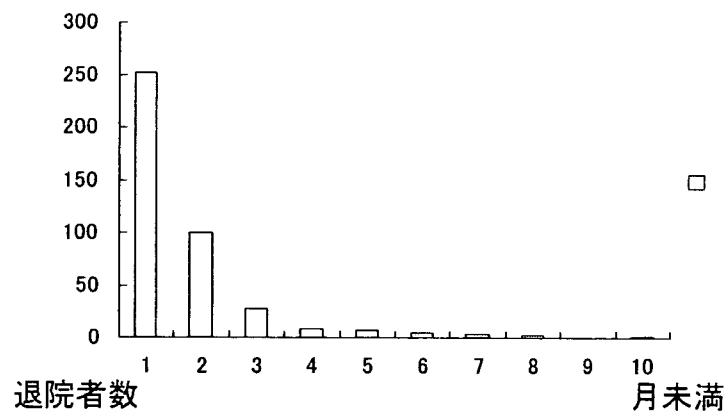
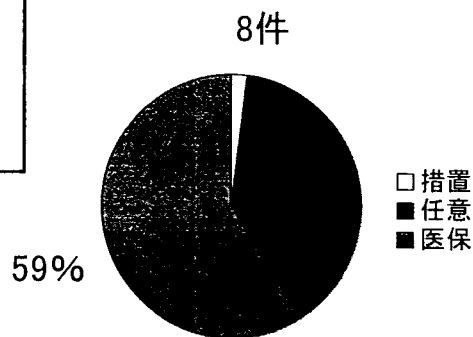
平均在院日数  
43.2日  
(2005年度)



成田赤十字病院  
精神科50床

退院 408

自宅退院	350(85%)
単科精神病院転院	45
一般科転院	2
他精神科通院	20
院内他科へ転科	5
死亡	6



(85%が2月以内に退院)<sup>25</sup>

# 入院患者住所別分布

その他都府県 5

茨城県 13

香取郡市 22

印旛郡市 317(77%)

成田市	115(28%)
佐倉市	48
富里市	47
八街市	36
四街道市	18
印旛村	17

+

成田赤十字病院

成田空港 10

山武郡市 10

その他千葉県内 36

船橋市	8
千葉市	5

(2005 n=413)

## 身体合併症患者例 (1)

年齢/性	精神疾患	身体疾患	紹介	転帰	備考
30代女	うつ病	急性リチウム中毒	ICUより	自宅	ICUにてCHDF施行
30代男	躁うつ病	急性薬物中毒→肺炎	救急病棟より	自宅	
40代女	摂食障害	低カリウム血症	救急病棟より	自宅	
60代女	統合失調症	肺炎	救急外来	ICUへ	精神科→ICU→精神科
60代男	うつ病	甲状腺機能低下症	精神科病院より転院	自宅	
70代男	躁うつ病	肺炎(入院後)	当科外来	ICUへ	→精神科 →施設へ退院
50代男	統合失調症	消化管出血(胃がん)	精神科病院より転院	外科病棟へ	手術
50代女	アルコール精神病	胃潰瘍	救急外来	自宅	
40代女	統合失調症	妊娠・出産	精神科病院より転院	同じ精神科病院へ転院	産婦人科にて分娩
40代女	アルコール依存症	急性薬物中毒	救急外来	自宅	



## 身体合併症患者例 (2)

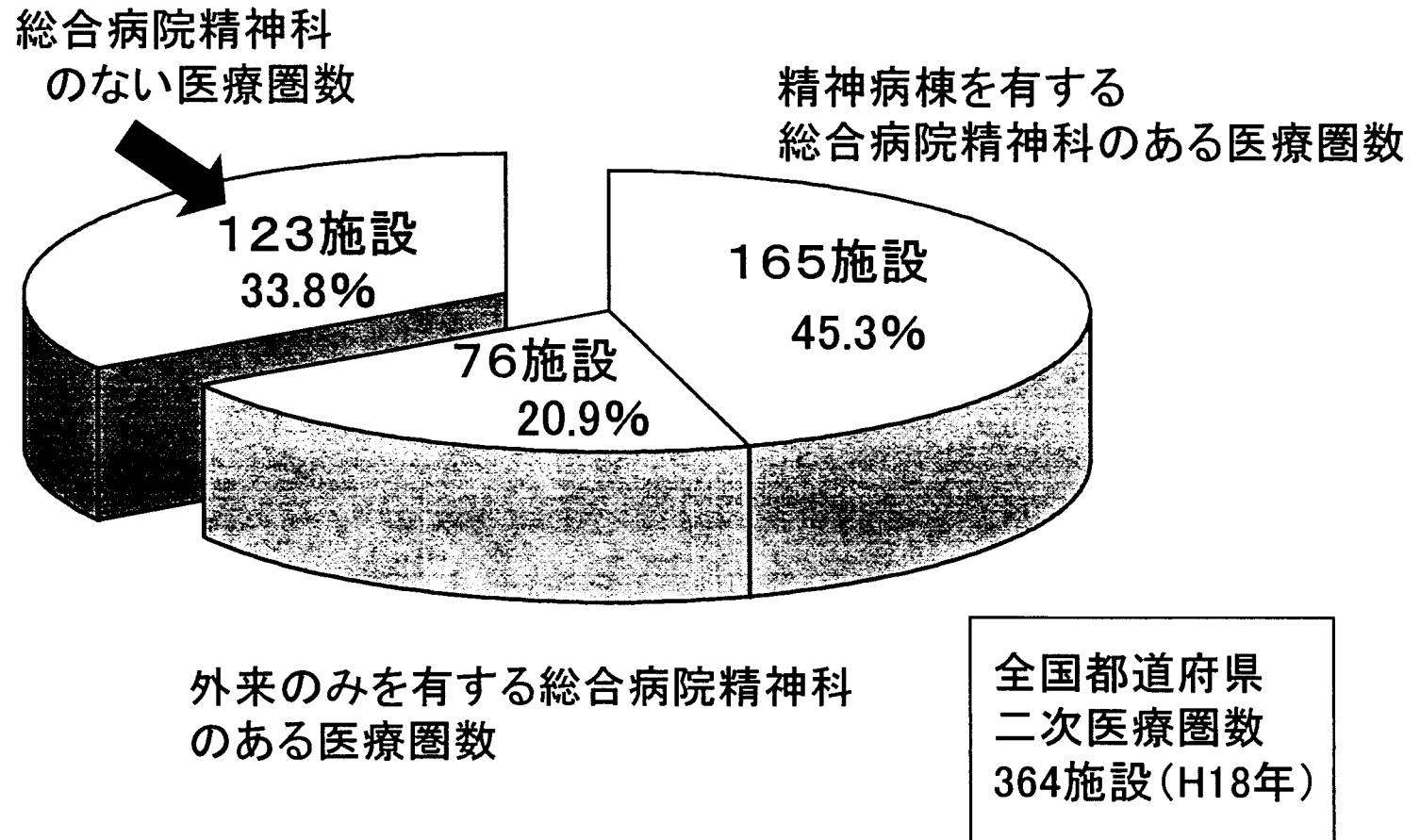
年齢/性	精神疾患	身体疾患	紹介	転帰	備考
60代女	統合失調症	糖尿病 (インスリン使用)	当科外来より	自宅	
30代女	統合失調感情障害	妊娠・出産	産婦人科病棟より	産婦人科病棟へ	産婦人科にて 分娩
30代男	躁うつ病	糖尿病 (インスリン使用)		自宅	
50代女	統合失調症	子宮体癌	精神科病院より転 院	同じ精神科病院 へ転院	産婦人科にて 手術
60代男	統合失調症	歩行困難 (透析中)	透析クリニックより	自宅	週3回透析 リハビリテーショ ン
50代女	気分変調症	急性薬物中毒	救急外来より	自宅	
30代女	覚醒剤精神病	妊娠・出産	一般病院産婦人 科外来より	自宅	産婦人科にて 分娩
30代男	うつ病	急性薬物中毒	ICUより	自宅	
50代女	うつ病	急性薬物中毒 →急性腎不全	救急外来より	自宅	透析5回で腎不 全改善

### 身体合併症患者例 (3)

年齢/性	精神疾患	身体疾患	紹介	転帰	備考
60代女	適応障害	急性薬物中毒	ICUより	自宅	
40代男	アルコール依存症	頭部・胸部 熱傷	ICUより	自宅	
50代女	妄想性障害	SLE	救急病棟より	自宅	
40代女	SLE精神病	SLE	救急外来より	自宅	
70代男	アルツハイマー型認知症	有機リン中毒	救急病棟より	施設	誤飲
30代女	統合失調感情障害	縊頸	救急外来より	自宅	
60代女	統合失調症	大腿骨頸部骨折	精神科病院より 転院	同じ精神科病院 に転院	整形外科にて手術
60代女	うつ病	急性薬物中毒	ICUより	自宅	
20代女	統合失調症	水中毒	ICUより	自宅	
20代女	知的障害	頸部腫瘍	形成外科外来 より	施設に戻る	形成外科にて手術

全入院130件(135日間) (措置8、医保78、任意44)  
 身体合併症36件(28%) (措置2、医保30、任意4)

# 二次医療圏と総合病院精神科



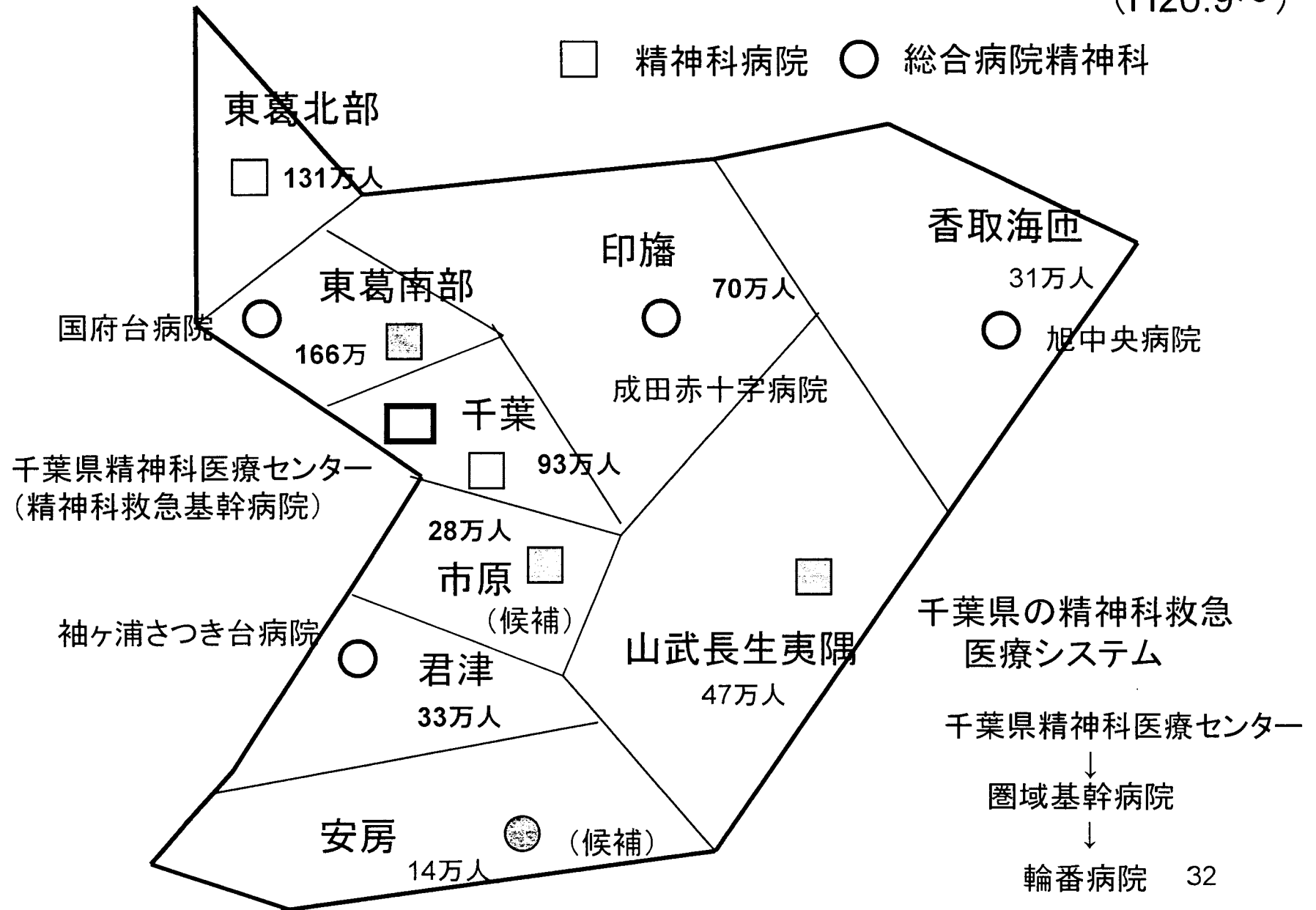
## 二次医療圏毎の精神科急性期病床の重点整備

原則として二次医療圏毎に急性期病棟として、  
精神科救急病棟・急性期治療病棟および／あるいは  
総合病院精神病棟各1ヶ所を整備することにより  
二次医療圏域中心の精神医療体制が整うのではないか。

二次医療圏数=364、二次医療圏の平均人口=33万人

$$50床 \times 2 \times 364医療圏 = 36,400床$$

# 千葉県の二次医療圏と精神科救急基幹病院 (H20.9~)



## 千葉県新精神科救急システムによる入院実績の変化

	20.4～20.8 入院数	20.9～21.1 入院数
基幹・西ブロック	32	77
基幹・中央ブロック	9	25
基幹・東ブロック	8	10
基幹・南ブロック	8	14
精神科医療 センター	92(62)%	73(37%)